

弁理士実務家講演会(事務所見学会あり)

『勝者と敗者を分かつ特許戦略とは？』

8月26日(金) LEC 新宿エルタワー本校にて

各種資格・国家試験の総合スクール東京リーガルマインド(LEC)は、8月26日(金)にLEC新宿エルタワー本校にて、弁理士・龍華明裕氏をお招きし、「勝者と敗者を分かつ特許戦略とは？～躍進する特許事務所に学ぶ、これからの弁理士像～」と題した特別講演会を開催いたします。講演終了後、事務所見学会も実施致します。

【弁理士とは？】

特許庁が扱う特許権、実用新案権、意匠権、商標権の4つの権利(産業財産権/工業所有権)に関するすべての手続を業務として代理することができる国家資格を持っている者をいいます。発明・考案・意匠・商標について、出願・審判請求手続等を代理して、それを特許庁に登録させ、その後も権利を維持することに努めています。近年、知的財産の重要性が高まる中で、弁理士の業務は知的財産全般に拡張しており、弁理士の重要性及び社会的役割は拡大しております。

◆ 知的財産立国を支える弁理士のこれから

弁理士の仕事は多岐にわたりますが、その中でも、いわゆる専権業務である特許・実用新案・意匠・商標の出願権利化業務が中心となっています。しかし、日本企業による海外への特許出願は増加傾向である一方、国内の特許出願は減少傾向にあり、近年では、特許流通、知財コンサルタント、知財教育、知財価値評価等の出願・権利化業務以外の業務も注目されつつあります。

本講演会では、業務に求められるスピードがさらに加速している特許業界で、クライアントとディスカッションしながら掘り起こした発明を迅速に出願するなど、社会のニーズを的確に掴んで国内外で活躍されている龍華氏に、この時代に活躍する魅力ある弁理士の業務やこれからの時代の弁理士に必要なスキルについてお話いただきます。

◆ 講演会概要

タイトル	勝者と敗者を分かつ特許戦略とは？～躍進する特許事務所に学ぶ、これからの弁理士像～	
講師	龍華 明裕 氏 (RYUKA 国際特許事務所 所長/弁理士) <略歴> 東北大学工学部及び東京大学工学部修士課程を修了。1987年 キヤノン株式会社で G4 ファクシミリのハードウェア及びソフトウェアの開発に従事。1991年 国内特許事務所に入所。1993年 弁理士登録。その後、特定侵害訴訟代理業務付記録。1995年から1998年まで米国法律事務所(Pillsbury Madison & Sutro, LLP)に技術顧問として勤務。1997年 米国弁理士資格を取得。1998年 RYUKA 国際特許事務所設立。	
開催日時	8月26日(金) 19:00～20:30 ※質疑応答・事務所見学会含む	
会場	LEC 新宿エルタワー本校 【所在地】東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー(受付18階) 【交通】JR線新宿駅西口より徒歩4分。西口地下街を直進(右手に小田急エース北館)、つきあたり(スバルビル)を右に曲がる。エスカレーターで2階エレベーターホールへ。B12-21 エレベーターを利用。 <同時中継会場> 松山本校 広島本校 岡山本校 静岡本校 名古屋駅前本校 仙台本校 札幌本校 横浜本校 京都駅前本校 梅田駅前本校 神戸本校 福岡本校	
参加料	無料	
対象	弁理士にご関心のある方、弁理士を目指している方、弁理士業務に従事されている方など	

★ 詳細はこちら→<http://www.lec-jp.com/event/entry/index.php?id=2300>

本件に関するお問い合わせ LEC東京リーガルマインド コールセンター TEL:0570-064-464

取材に関するお問い合わせ LEC東京リーガルマインド 広報課 TEL:03-5913-6220